



見える学力 見えない学力

運動会も終わり、子どもたちには落ち着いて学習や友だちと仲良くすることに力を入れてほしいことを集会で話をしました。長い2学期も半分が過ぎ、「自律」「挑戦」「感謝」を意識した学校生活に学校としてさらに力を入れていきます。

さて、2学期の第1週に実施された「国語・算数大会」では保護者の皆様にご協力をいただき誠にありがとうございました。今回は、事前勉強に力を入れる「チャレンジアップ週間」を夏休みの最後に設定し、自律的に出題範囲の学習を進めてもらいました。結果は、学校で予想した期待平均点よりも多くの学年で下回ってしまいました。この結果を受けて教職員で結果分析を行いました。

<分析結果>

①出題範囲が広くなったため、復習する時間がかかった

(今まで1学期の終わりの実施だったので1学期途中までの範囲でした)

②チャレンジアップ週間を子どもたちの自主性にまかせたため、教員の手を入れる時間がなかった。

以上のことから次回の「国語・算数大会」に向けた「チャレンジアップ週間」のもちかたを変更することになりました。

<変更点>

①「国語・算数大会」を3学期第2週に実施

②「チャレンジアップ週間」を冬休みの最後の1週間と3学期はじめの1週間とする

③3学期はじめの1週間は「国語・算数大会」に向けた復習となるような宿題を出す

群馬県全体で目指している「自律した学習者」の育成に向けて、本校でも「自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す」機会を子どもたちに提供しています。そのために自主学習の日を設定したり、チャレンジアップ週間の時期の工夫を行ったりしています。点数で現れる「見える学力」にどうしても関心が行きがちですが、予測困難な時代を生き抜くための力の多くがは「目に見えない学力」です。「目に見えない学力」は、毎日続ける力、集中力や処理力、ねばり強さ、やってみようとする意欲、学校で習っていないことを自力で理解しようとすることで深まる力、未知の領域に挑戦する心や向上心、思いやりやコミュニケーション能力等、人生を切り開くための基盤のことを言います。

この2つの学力をバランスよく育成していくことが学校にとって重要なことであると考え、教職員一同力を合わせて、日々の授業や学校行事等、学校生活全体で子どもたちに力をつけていきます。

保護者の皆様におかれましては、引き続き学校と連携していただき、子どもたちの「見える学力」「見えない学力」を高めていくためのご協力をお願いいたします。

<参考>

※本校の宿題について(4月の職員会議より)

・統一した宿題を出す日は「音読・国語・算数」の3本柱で対応

・自主学習を宿題とする日を入れる

1年……1学期は統一した宿題、2学期から週1回、自主学習の日を設定

2年……週1回、自主学習の日を設定

3年~6年……週2回、自主学習の日を設定

※4月に家庭学習リーフレットを配付しています。HPの学習のページにも最新のリーフレットが掲載されていますのでご活用ください。